

## あなたのキャリーバッグの持ち方は大丈夫ですか？！

昔は海外旅行の際に良く利用されていたキャリーバッグですが、近年は軽量化され、また価格帯も廉価なモノが増えてきたこともあってか、普段使われる姿を見掛けることが多くなりました。

そこで、今回はキャリーバッグのマナーや使用時のリスクについて一緒に確認しましょう！

キャリーバッグによる事故の事例をまとめて公開しているのは、独立行政法人国民生活センター。「自分も被害に遭ったことがある」、「誰かに迷惑をかけそうになってしまったことがある」人は、ひょっとしたら少なくないかもしれません。

### ➤ 全身打撲や骨折をする例も

事故が起きている主な“現場”は、**繁華街、駅、階段、そしてエスカレーター。**

- ・キャリーバッグがぶつかって転んでケガをした
- ・新幹線を降りたとき、前方を歩いていた人のキャリーバッグに足をとられた
- ・階段やエスカレーターの上からキャリーバッグが落ちてきた

といった声が寄せられています。

### ➤ 混雑した場所だと視界に入りにくい

キャリーバッグを引いたときの長さを測定すると、身長152cmの女性の場合、足のつま先からキャリーバッグの後ろまで**平均137cm、最大で156cmの長さ**が取られていたそうです。

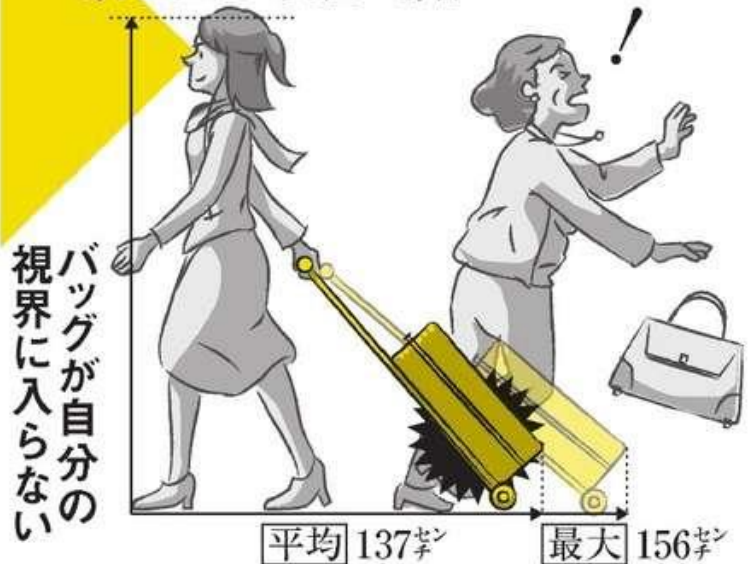
駅など人の多い場所や混雑している場所では、キャリーバッグが周囲の人の視界に入らないことが多く、存在に気づきにくい場合もあります。

そのため持ち運ぶときはもちろん、**周囲にキャリーバッグを引いている人がいないか**注意を向けることも大切です。

### キャリーバッグを利用する際の注意点

国民生活センターによる

身長152cmの女性の場合



前？ 後ろ？

### エスカレーターではキャリーバッグは前？後ろ？

重い荷物も楽に運べるキャリーバッグ。駅や空港などでエスカレーターに乗せる時、自分の立ち位置から見てどこに置くのが「正しい」のでしょうか。

片側をあけることが多い日本。エスカレーターを駆け上がっていく人の振動で、キャリーバッグが滑り落ち、重大な事故が発生しています。

エスカレーターに乗る場合「**上りは自分の前に、下りは自分の後ろに乗せ、万が一に備え落下しないように絶対に手を離さないようにする**」、このようにバッグを先に乗せる、降ろすような感覚で扱うと、後ろの人に迷惑がかからないと考えると良いようです。

# キャリーバッグによる人身事故と個人賠償責任保険

自転車による人身事故が大きな社会問題となって久しいですが、キャリーバッグによる人身事故も利用が増えるにつれ増大しています。

これまでは携行できなかった重い荷物を運べるので大変便利ですが、その一方で、手提げかばん以上の大きな荷物、そして自分の体力で管理出来ない重い荷物を管理することに注意が必要です。

**【事例1】** 会社員のAさんは、奥様とお子さん2人を連れて国内旅行中に、駅構内でキャリーバッグを前を歩いていたご老人の杖に接触させ、ご老人を転倒させ大けがをさせてしまいました。

旅行は台無しで、3か月後に後遺障害や慰謝料を含めて約100万円の請求を受けました。

**【事例2】** 会社役員の本さんは、実家に帰省するために空港の上りエスカレーターを利用していた際、ご自身の後ろのステップに置いていたキャリーバッグの取っ手から、うっかり手を放してしまいました。キャリーバッグは転げ落ち、下にいた観光客2人に直撃、足の骨を折る大けがをさせてしまいました。

帰省は中止となり、半年後に後遺障害や慰謝料を含めて約200万円の請求を受けました。

## ～万が一に備えて個人賠償責任保険に加入しておきましょう！～

上記事故の場合には、原則として故意・重過失が無ければ“個人賠償責任保険”で法律上賠償を命じられた賠償金を補償することができます。

なお、海外旅行中の場合には海外旅行保険の特約として加入しないと補償できないことが多いので、ご注意ください。

## キャリーバッグ使用時の注意点

- 使用者が思う以上に後方の場所をとることを意識する
- 混雑時は後ろで引かず手で持つ
- 引く場合もなるべく体の近くで
- エスカレーターでは手を離さず、落下に注意



**人混みを我が物顔で駆け抜ける重たいキャリーバッグは静かな凶器となります。**

- ・ 人混みではキャリーバッグは自分の横に地面に垂直に立てて、斜めに引っ張らない
- ・ 上りエスカレーターではキャリーバッグは自分の前のステップに置き、下りエスカレーターでは自分の後ろのステップに置いて、取っ手からは絶対に手を離さない。

ほんの小さな不注意で他人に大きな痛みを与え、ご自身も自責の念で苦しむこととなりますので、くれぐれもご注意ください。

弊社は損害保険会社8社、生命保険会社8社、少額短期保険会社1社を取扱い、お客様の企業経営から個人のライフプランまで総合的なリスクマネジメントをご提案いたします。

現在弊社以外でご契約の保険の証券診断も承りますので、お気軽にご相談ください！

弊社では、募集品質の改善・向上への取り組みの一環として、お客様から忌憚ないご意見やご感想を伺っております。是非ともご協力ください！

“お客様アンケートのサイト” <https://forms.gle/EXCkVdfkxmLLni7u7>



◆弊社ホームページで「TOKYO CENTRAL NEWS」のバックナンバーを掲載しておりますので、是非ともご参照ください。